

令和5年度における施策
の成果並びに予算執行の
実績に関する説明書

(決算附属資料)

地方自治法第233条第5項の規定により、令和5年度における施策の成果並びに予算執行の実績に関する説明書を次のとおり提出いたします。

令和6年8月22日 提出

淡路広域消防事務組合
管理者 守本 憲弘

1 決算の概要

令和5年度一般会計歳入歳出決算については、歳入総額 2,381,836,285 円、歳出総額 2,338,103,942 円で、歳入歳出差引額 43,732,343 円となりました。

令和3年度～令和5年度決算の推移

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較 (R5-R4)	
				増減額	増減率
歳入	2,032,350	2,034,293	2,381,836	347,543	17.1%
歳出	2,006,226	1,999,352	2,338,104	338,752	16.9%
歳入歳出差引額	26,124	34,941	43,732	8,791	25.2%

実質収支は、翌年度へ繰り越すべき財源はないため、歳入歳出差引額と同額となり、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、10,931 千円となりました。

また、前年度繰越額は 34,941 千円で、430 千円を財政調整基金に積立て、18,650 千円を繰り上げ償還しました。

この結果、実質単年度収支は、21,011 千円の黒字となりました。

令和3年度～令和5年度決算収支の状況

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 歳入総額	2,032,350	2,034,293	2,381,836
2 歳出総額	2,006,226	1,999,352	2,338,104
3 歳入歳出差引額 (1 - 2)	26,124	34,941	43,732
4 翌年度へ繰り越す べき財源額	0	2,140	0
5 実質収支額 (3 - 4)	26,124	32,801	43,732
6 単年度収支 (5-前年度分5)	△ 3,735	6,677	10,931
7 財政調整基金積立金	324	264	430
8 繰上償還額	19,982	13,140	18,650
9 財政調整基金取崩額	0	0	9,000
10 実質単年度収支 (6 + 7 + 8 - 9)	16,571	20,081	21,011

2 歳入

収入済額を前年度と比較すると、347,543千円（17.1%）の増加となりました。

消防施設整備事業の実施による、組合債の増加が主な要因となっています。

令和3年度～令和5年度 歳入の推移

(単位：千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		前年度比較(R5-R4)	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分 担 金 及 金	1,865,221	91.8%	1,904,632	93.6%	1,956,313	82.1%	51,681	2.7%
使 用 料 及 料	2,170	0.1%	2,336	0.1%	2,293	0.1%	△ 43	△1.8%
国 庫 支 出 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
財 産 収 入	2,429	0.1%	1,145	0.1%	901	0.0%	△ 244	△21.3%
繰 入 金	0	0.0%	0	0.0%	9,000	0.4%	9,000	-
繰 越 金	29,859	1.5%	26,124	1.5%	34,941	1.5%	8,817	33.8%
諸 収 入	13,871	0.7%	17,756	0.9%	21,688	0.9%	3,932	22.1%
組 合 債	118,800	5.8%	82,300	4.0%	356,700	15.0%	274,400	333.4%
寄 附 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	2,032,350	100%	2,034,293	100%	2,381,836	100.0%	347,543	17.1%

(1) 款別決算状況

1 款 分担金及び負担金

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
入	1. 分担金 1. 事務組合分担金	1,955,104	1,955,104	5, 6

※ 項目ごとに四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。(以下同じ)

前年度と比較すると 51,657千円増となりました。

均等割 33% 人口割 67% ※ 淡路広域消防事務組合規約による

洲本市 639,247千円 (32.70%)

南あわじ市 669,089千円 (34.22%)

淡路市 646,768千円 (33.08%)

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
入	2. 負担金 1. 緊急通報センター負担金	1,000	1,000	5, 6
	2. 負担金 2. 移譲事務負担金	209	209	

緊急通報装置は、指令センターで運用管理し、高齢の独居者を対象とした緊急通報システムで、淡路広域行政事務組合から事務を受託しています。前年度から増減はありません。

移譲事務は、高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類の保安に係る事務を構成3市から受託しています。前年度から24千円増となりました。

洲本市 47千円 南あわじ市 57千円 淡路市 105千円

2款 使用料及び手数料

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 手数料 1. 消防手数料	1,650	2,188	5,6
	2. 使用料 2. 総務使用料	105	106	

危険物申請手数料、り災証明手数料及び行政財産使用料による収入で、危険物に係る申請件数は増加(137件→153件)しましたが、1件当たりの申請手数料が低額であったため、前年度から43千円減となりました。

3款 財産収入

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 財産運用収入 1. 利子及び配当金	430	430	7,8

財政調整基金利子による収入で、前年度から165千円増となりました。

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	2. 財産売払収入 1. 物品売払収入	471	472	7,8

消防車更新事業に伴い不要となった消防車の売払収入で、前年度から408千円減となりました。

4款 繰越金

前年度繰越金34,941千円、前年度と比較すると、8,817千円増となりました。

5款 諸収入

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 雑入 1. 救急支弁金	6,408	6,409	7,8

神戸淡路鳴門自動車道における救急業務に関する支弁金で、前年度から2,074千円増となりました。

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 雑入 2. 雑入	14,360	15,279	7,8

前年度から1,858千円増となりました。

○主な内容と収入済額

職員健康診断助成金	877千円
保険事務取扱手数料	814千円
共済保険金	1,493千円
派遣職員給与返納金	11,349千円

6款 組合債

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 事務組合債	1. 消防債	356,700	356,700

前年度と比較し 274,400 千円増となりました。

○内容

津名一宮分署ポンプ自動車、洲本消防署救急車更新事業

事業費 80,300 千円 起債額 80,300 千円

津名一宮分署感染防止対策工事事業 事業費 30,095 千円 起債額 30,000 千円

岩屋分署庁舎建設工事事業 事業費 264,388 千円 起債額 237,900 千円

消防指令センター及び消防救急デジタル無線施設整備実施設計事業

事業費 9,625 千円 起債額 8,500 千円

7款 繰入金

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 繰入金	1. 基金繰入金	9,000	9,000

消防施設整備事業の財源とするため、基金の一部を取崩しています。

3 歳出

支出済額を前年度と比較すると、338,752 千円増(16.9%)となりました。消防施設整備費が大幅に増加したことが主な要因となっています。

令和3年度～令和5年度 歳出の推移

(単位：千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		前年度比較(R5-R4)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	204	0.0%	201	0.0%	202	0.0%	1	0.5%
総務費	610	0.0%	548	0.0%	718	0.0%	170	31.0%
消防費	1,686,706	84.1%	1,679,221	84.0%	2,055,884	88.0%	376,663	22.4%
公債費	318,706	15.9%	319,382	16.0%	281,300	12.0%	△ 38,082	△11.9%
予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	2,006,226	100%	1,999,352	100%	2,338,104	100.0%	338,752	16.9%

(1) 科目別決算状況

1 款 議会費

歳	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	頁
出	1. 議会費 1. 議会費	212	202	11, 12

令和 5 年度において、定例会 2 回、臨時会 1 回、計 3 回を開催しました。

2 款 総務費

歳	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	頁
出	1. 総務管理費 1. 一般管理費	190	145	11, 12

一般管理費は、特別職報酬を支出しています。前年度から 5 千円増となりました。

歳	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	頁
出	1. 総務管理費 2. 財政調整基金費	430	430	11, 12

組合財政の健全な運営に資するため財政調整基金を積み立てました。

歳	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	頁
出	2. 監査委員費 1. 監査委員費	163	143	11, 12

監査委員費は、監査等実施に要する経費として、監査委員の報酬等を支出しています。

令和 5 年 5 月 24 日 現金出納検査

令和 5 年 7 月 10 日 現金出納検査、決算審査

令和 5 年 10 月 23 日 現金出納検査、定期監査

3 款 消防費

歳	科目 (項・目)	予算現額 (千円)	支出済額 (千円)	頁
出	1. 消防費 1. 常備消防費	1, 711, 655	1, 671, 476	13~18

常備消防費は、消防職員に係る人件費、研修費、旅費、消防車両及び機材の点検整備費用、通信指令システムに係る通信費及び保守管理費用、火災・救急・救助活動に必要な備品等の経費を支出しており、前年度から 74, 734 千円増となりました。

○主な内容と支出済額

人件費 (報酬、給料、職員手当等、共済費)	1, 496, 678 千円
需用費 (消耗品費、燃料費、修繕料、光熱水費等)	75, 478 千円
役務費 (自動車損害保険料、通信費等)	18, 223 千円
委託料 (指令システム保守、機材維持管理等)	21, 986 千円
使用料及び賃借料 (通信回線利用料等)	12, 431 千円
備品購入費 (指令・予防・警防・救急・救助)	5, 247 千円
負担金 (消防学校・救命士養成等研修負担金、派遣職員給与返納金等)	37, 768 千円

【警防関係】

令和5年中の火災件数は98件で、前年と比較して21件減となり、市別の内訳は、洲本市28件、南あわじ市20件、淡路市50件となりました。

火災種別では、その他の火災が58件で全体の59.2%を占め、次いで建物火災が31件で31.6%となりました。

これらの火災により、51棟が焼損、7名が死亡し、13名が負傷しました。

単位：件

火災件数	令和3年	令和4年	令和5年
洲本市	33	37	28
南あわじ市	25	29	20
淡路市	28	53	50
計	86	119	98

救急件数は7,204件で、前年と比較して476件増となり、市別の内訳は、洲本市2,371件、南あわじ市2,235件、淡路市2,592件、その他6件となりました。

事故種別では、急病が4,347件で全体の60.3%を占め、次いで一般負傷が1,231件で17.1%となりました。

単位：件

救急件数	令和3年	令和4年	令和5年
洲本市	1,903	2,290	2,371
南あわじ市	1,734	2,011	2,235
淡路市	2,101	2,425	2,592
その他	1,001	1,002	6
計	5,739	6,728	7,204

救助件数は150件で、前年と比較して42件増となり、市別の内訳は、洲本市45件、南あわじ市52件、淡路市52件、その他1件となりました。

事故種別では、その他の事故が38件で全体の25.3%を占め、次いで交通事故が32件で21.3%となりました。

単位：件

救助件数	令和3年	令和4年	令和5年
洲本市	39	36	45
南あわじ市	37	30	52
淡路市	39	42	52
その他	001	000	1
計	116	108	150

その他の災害の件数は 538 件で、前年と比較して 122 件増となりました（救急支援、調査・警戒等を総称して、その他の災害としています。）

災害種別では、救急支援が 284 件で全体の 52.8%を占め、次いで調査・警戒が 173 件で 32.2%となりました。

単位：件

その他の災害 件数	令和3年	令和4年	令和5年
	368	416	538

【通信関係】

119 番受信件数は 10,897 件で、前年と比較して 266 件増となりました。

通報種別では、救急が 6,734 件で全体の 61.8%を占め、次いで病院紹介が 535 件で 4.9%となりました。

そのほか、391 件の通報訓練を行いました。

単位：件

119 番受信 件数	令和3年	令和4年	令和5年
	8,781	10,631	10,897

【予防関係】

火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守るためには、防火意識や防災行動力を高めることが何よりも大切です。

住宅火災が発生した地域や火災予防運動での広報活動を通じて、設置が義務である住宅用火災警報器の周知を行うとともに、消防職員による高齢者世帯等に対する住宅用火災警報器の取付支援を開始しました。また、不特定多数が利用する防火対象物及び危険物施設の立入検査、消防法令違反の是正等の規制業務を継続して取り組みました。

防火管理者講習会では責任感をもって防火管理上必要な業務を遂行してもらえるよう、座学に実技訓練を加えた講習会を実施しました。



歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 消防費 2. 消防施設整備費	384,425	384,407	19,20

消防施設整備費は、庁舎整備に係る工事費、車両整備事業に要した費用を支出しています。前年度と比較すると 301,928 千円増となりました。

今年度、庁舎関係では、津名一宮分署において感染防止対策工事を実施したほか、消防整備基本計画に基づき、岩屋分署庁舎建築工事に着手しました。

車両整備においては、津名一宮分署の消防ポンプ自動車、洲本消防署の救急自動車を更新したほか、機器整備では、消防指令センター及び消防救急デジタル無線施設の整備工事に向け、実施設計を実施しました。

○主な内容と支出済額

津名一宮分署感染防止対策工事費(設計・監理費等を含む)	30,095 千円
岩屋分署庁舎建設工事(附帯工事、工事監理費等を含む)	264,388 千円
津名一宮分署消防ポンプ自動車、洲本消防署救急自動車購入費	80,300 千円
消防指令センター及び消防救急デジタル無線施設整備実施設計	9,625 千円

・津名一宮分署



・救急自動車(洲本消防署)



・岩屋分署(完成イメージ)



4款 公債費

歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 公債費 1. 元金		276,825	276,824
1. 公債費 2. 利子		4,477	4,476	

令和4年度に借り入れた、由良出張所ポンプ自動車購入、洲本消防署感染症対策工事、岩屋分署庁舎建設工事設計業務にかかる元利償還を開始する一方、過年度に借り入れた、救助工作車・岩屋分署救急車、消防指令システムにかかる元利償還が終了したことより、前年度から38,082千円減となりました。

公債費の状況

借入年度	事業名	借入額 円	償還金		未償還残高 円	利率 %	償還終期 年月日
			当年度償還金 円	償還金累計 円			
平成25年度	新庁舎建設工事	46,200,000	3,333,449	29,178,836	17,021,164	0.70	R11.3.20
平成26年度	新庁舎建設工事	9,500,000	680,130	5,347,117	4,152,883	0.50	R12.3.20
平成26年度	消防救急デジタル無線	341,400,000	37,932,000	303,468,000	37,932,000	0.53	R7.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	619,400,000	44,200,000	354,200,000	265,200,000	0.775	R12.3.31
平成27年度	新庁舎建設工事	302,200,000	33,576,000	235,048,000	67,152,000	0.35	R8.3.31
平成28年度	西淡救急車	12,100,000	2,016,000	12,100,000	0	0.01	R6.3.31
平成30年度	由良救急車	27,700,000	4,616,000	18,468,000	9,232,000	0.01	R8.3.31
平成30年度	西淡ポンプ車・資機材搬送車	47,600,000	7,932,000	31,736,000	15,864,000	0.01	R8.3.31
令和元年度	北淡救急車・北淡ポンプ車	72,000,000	18,000,000	54,000,000	18,000,000	0.19	R7.3.31
令和元年度	指令機器更新・由良庁舎設計	56,000,000	9,334,000	28,002,000	27,998,000	0.16	R9.3.31
令和2年度	洲本梯子車	139,700,000	34,925,000	104,775,000	34,925,000	0.19	R7.3.31
令和2年度	津名救急車	31,900,000	6,380,000	19,140,000	12,760,000	0.189	R8.3.19
令和2年度	由良庁舎建設	213,100,000	10,655,000	31,965,000	181,135,000	0.40	R23.3.20
令和3年度	洲本ポンプ車・五色ポンプ車	91,100,000	22,774,544	34,161,645	56,938,355	0.002	R8.9.20
令和3年度	津名一宮分署外壁等改修工事	5,300,000	3,710,000	5,300,000	0	0.40	R8.9.18
令和3年度	指令機器更新業務	22,400,000	19,200,000	22,400,000	0	0.40	R11.3.20
令和4年度	由良ポンプ車	48,900,000	10,880,000	16,320,000	32,580,000	0.245	R9.3.19
令和4年度	洲本消防署感染防止対策工事	17,900,000	3,580,000	3,580,000	14,320,000	0.40	R12.3.20
令和4年度	岩屋庁舎建設設計	15,500,000	3,100,000	3,100,000	12,400,000	0.40	R12.3.20
令和5年度	津名一宮ポンプ車・洲本救急車	80,300,000	0	0	80,300,000	0.35	R11.3.21
令和5年度	津名一宮分署感染症対策工事	30,000,000	0	0	30,000,000	0.51	R16.3.17
令和5年度	岩屋分署庁舎建設工事	237,900,000	0	0	237,900,000	0.875	R26.3.20
令和5年度	指令センター施設整備実施設計	3,100,000	0	0	3,100,000	0.67	R16.3.17
令和5年度	デジタル無線施設整備実施設計	5,400,000	0	0	5,400,000	0.67	R16.3.17
計		2,476,600,000	276,824,123	1,312,289,598	1,164,310,402		

(2) 性質別決算状況

令和3年度～令和5年度 性質別経費の状況

(単位：千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		前年度比較 (R5-R4)	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	1,377,043	68.6%	1,406,125	70.3%	1,473,076	63.0%	66,951	4.8%
物件費	119,966	6.0%	126,634	6.4%	127,735	5.5%	1,101	0.9%
維持補修費	1,130	0.1%	4,177	0.2%	6,102	0.3%	1,925	46.1%
補助費等	36,207	1.8%	36,006	1.8%	40,533	1.7%	4,527	12.6%
扶助費	23,855	1.2%	24,285	1.2%	24,520	1.1%	235	1.0%
公債費	318,706	15.9%	319,382	16.0%	281,300	12.0%	△ 38,082	△11.9%
普通建設費	128,995	6.4%	82,479	4.1%	384,408	16.4%	301,929	366.1%
積立金	324	0.0%	264	0.0%	430	0.0%	166	62.9%
合計	2,006,226	100.0%	1,999,352	100.0%	2,338,104	100.0%	338,752	16.9%

人件費は歳出全体の63.0%を占め1,473,076千円、人事院勧告に伴う給与増に伴い、前年度から66,951千円増となりました。

物件費は127,735千円、公用車修繕料、緊急車両保守点検実施等により、前年度と比較して1,101千円増となりました。

維持補修費は6,102千円、各署所庁舎補修に要した費用が大きくなり、前年度より1,925千円増となりました。

補助費等40,533千円のうち、69.2% (28,062千円) が関係市から当組合への派遣職員の人件費負担金となっています。

公債費は281,300千円、前年度と比較して38,082千円減となりました。

普通建設事業費は384,408千円、大型事業の実施により前年度と比較して301,929千円増となりました。

積立金は430千円、前年度と比較して166千円増となりました。

※ 令和5年度末財政調整基金高 322,724千円

以上